

非ジエン系ゴムの
反応性高機能表面処理剤
SAT-1000P・BX-107
SAT-500F

シンコー技研株式会社

〒101-0035 東京都千代田区神田紺屋町38番地

TEL 03-3252-4771/FAX 03-3252-4776

グレード・概要・特徴・用途実例

<グレード>

SAT-1000P: 汎用非ジエン系ゴム表面処理剤(厚膜形成タイプ)

BX-107: 汎用非ジエン系ゴム表面処理剤(薄膜形成タイプ)

SAT-500F: フッ素ゴム用表面処理剤

<概要>

ゴム表面に化学結合したフッ素シリコン皮膜を形成し、固粘着を防止します。また、高滑性機能をもたせ、優れた表面特性を呈します。

<特徴>

ゴム表面被膜の密着性が優れ、ゴムとしての特性を損なうことなく、ゴム表面の低摩擦、非粘着の性質が付与されます。

<使用可能ゴム種>

SAT-1000P、BX-107: シリコン、EPDM、フッ素ゴムなどの非ジエン系ゴム

SAT-500F: フッ素ゴム

(※1 ジエン系ゴムにも効果はありますが、非粘着性を求められるのであればプライマーM-50などのジエン系ゴム処理剤を推奨します。 ※2 CRなどの塩素系ポリマーは効力が薄い場合があります。)

<用途実例>

- ・シリコンゴム製品の自動装着ラインでの固粘着防止
- ・シリコンゴム製品の塵ホコリ付着防止
- ・EPT製品の固着防止

処理方法

[前処理洗浄] 酢酸エチル (Ethyl Acetate) 又はアルコールにて洗浄

[自然乾燥] 洗浄液が完全に蒸発したことを確認

[表面処理] 表面処理液に15～60秒 含浸

[自然乾燥] 表面処理液が完全に蒸発したことを確認

[加熱処理] 160°C × 15min 加熱

ゴム表面の滑性と非粘着性を確認

SAT-1000P 反応性確認

ゴム種	処理方法	自然乾燥	架橋条件	非粘性／活性
EPDM	漬浸15秒	—	160°C 15min	◎
CR	漬浸15秒	—	160°C 15min	Primer M 50: × SAT-1000P: ×
HNBR	漬浸15秒	—	160°C 15min	◎
IIR	漬浸15秒	—	160°C 15min	◎
ACM	漬浸15秒	—	160°C 15min	◎
VMQ	漬浸15秒	—	160°C 15min	◎
CSM	漬浸15秒	—	160°C 15min	Primer M 50: × SAT-1000P: ×

判断基準

- ◎ 非粘着性を目的とする。塗膜剥離しないので、ゴムとの追従性がある。
- 非粘着性は認められるが滑性はやや劣る。
- × 塗装面を爪で擦るとボロボロに剥離する。CR及びCSMは塩素系拒否反応を示す。

SATシリーズ コーティング性能評価

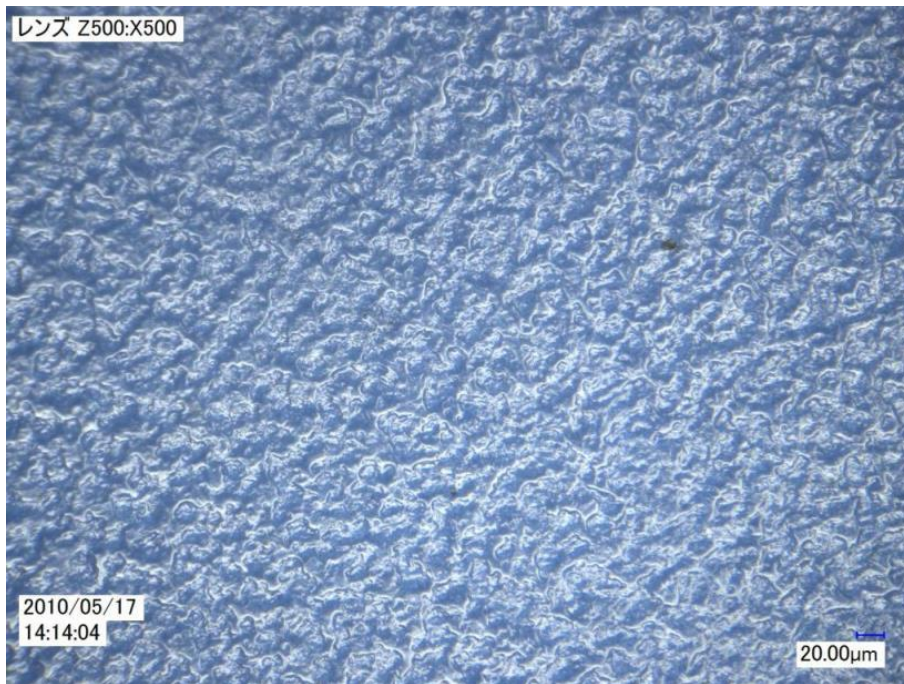
性能評価	EPT		VMQ		FKM		
	未処理	SAT-1000P	未処理	SAT-1000P	未処理	SAT-500F	B社
膜厚(μm)	—	2~8	—	2~8	—	3~4	20~40
基盤目剥離試験	—	100/100	—	100/100	—	100/100	60/100
伸張時の追随性	—	◎	—	◎	—	◎	×
静摩擦係数	0.36	0.16	0.40	0.17	2.00	0.26	0.30
摺動抵抗(%)	100	20	100	20	100	35	—
非粘着性(%)	100	20	100	20	100	20	90

※摺動抵抗、非粘着性は未処理を100%としたときの比率で表示

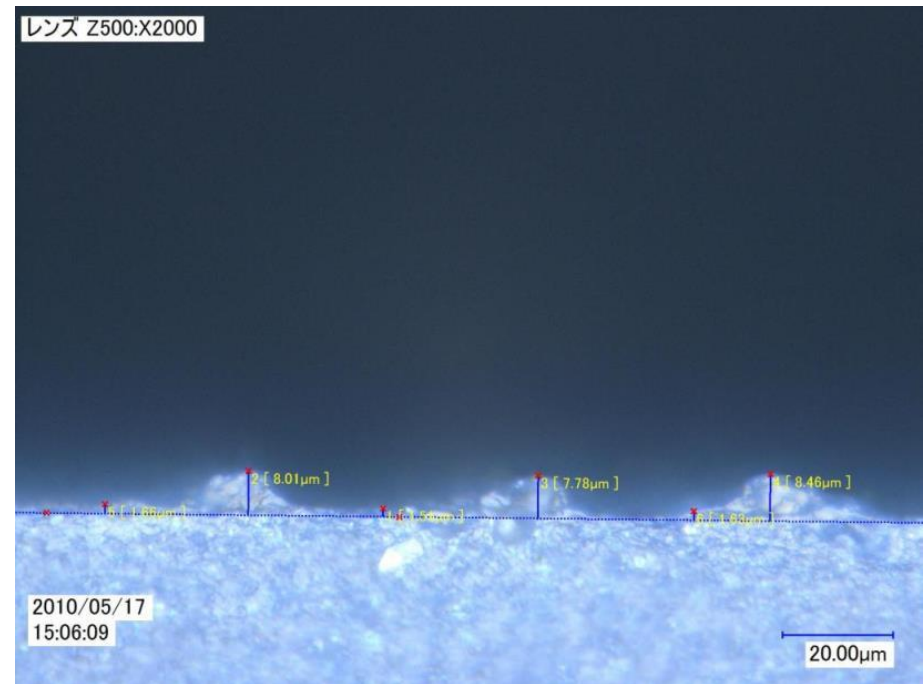
表面処理改質状態

シリコンゴム表面のプライマーM-50処理前後をマイクロ스코ープにより観察

・処理後表面



・処理後断面



表面処理により凹凸が形成される→粘着性低減及び滑性向上

保管方法

- 高温多湿、直射日光を避けて冷暗所に置いて下さい。使用後はしっかり栓を閉め、段ボール内に戻して光を当てないようにして保管ください。
- 他の溶剤との混合は避けてください。
- 水の混入は避けて下さい。
- 使用した液は原液に戻さないで下さい。
- 皮膚に付着した場合は直ちに石鹼水で洗浄してください。
- 換気等、有機溶剤の取り扱いに準じます。